その人らしく
暮らし続けられるために

～「食のイベント」を通して～

特別養護老人ホーム開寿園
小田　智子
宮　友美

平成30年　開寿園ユニット葉梨開設

〇介護サービス理念

「その人らしく　暮らし続けられるように　生活を支えます」

〇ユニットケア

「自己選択・自己決定」「生活の継続」「自立（律）支援」

介護サービス理念に沿ってユニットケアを行っていきたい

◎入居者さんたちが楽しめて、介護職員にも「気づき」を促したい

入居者さんが楽しいこと＝「食べること」

↓

「食のイベント」を月１回各ユニットで行っていこう！

↓

でもだんだん・・・

ユニット職員：「何食べたい？」

入居者さん：「〇〇」　　⇒　メニューが決まる

↓

「食のイベント」を行う目的は何だった？

↓

初心に帰ろう！！（令和5年2月24日のイベントに向けて）

2/24のイベント計画時、意識をすること

・入居者さんたちとの話の中からメニューを決めること
・入居者さんの生活歴を意識してメニューを決めること
　（「生活の継続」に重点を置く）
・調理分担について考えること

（終了後、ユニット職員に向けてアンケートを行う）

〇さくらユニット
「たまにはご飯じゃなくて麺、ラーメンとかもいいね。」「ここだとあんまりでないし、前出たときは少し冷めていたけど、ラーメンって言ったら、やっぱり温かい出来たてのものが食べたいね。」「ラーメンには卵とか乗せるといいよね。」「そうそう、チャーシューとね。」ラーメンって家で食べたりした？「ラーメンはやっぱりお店で食べるほうが多かったね。」お店ならチャーハンもつけようか。

テーマ：ラーメン屋さん

・ラーメン（トッピングは好みで選んでいただく）

・チャーハン

〇れんげユニット
＜2色ご飯・かぶのあんかけ・すまし汁＞
「ひなまつりが近いね。」ひなまつりって聞いて思うことは？「かわいい！」かわいいってどんな感じ？「ピンク、色がいっぱい入ってる。」春の食材も使いたいね。「かぶ？」「ごはんと汁物も欲しいね。」お麩を入れますか？（画像を見せて）「何これ？かわいい！」ごはんには今日出た桜でんぶと卵かけますか？「いいね～。」

テーマ：かわいいひなまつり

・2色ご飯
・かぶのあんかけ煮
・すまし汁

〇しらふじユニット
（職員との世間話から）「ここは2月の節分に恵方巻は出る？」でないなあ。「ここに来る前はね、家では自分たちで恵方巻を作っては、その年の方角を向いて毎年食べていたから、やっぱりやりたくてね～」（節分には叶いませんでしたが、別の時）「昔はよくお寿司を自分たちで握って食べたりしたもんだよ～」

「そうね、昔は今みたいにお魚っていうよりも、シイタケを甘じょっぱく煮たりとか卵とか・・・。」それならいろいろな具を用意して巻きすで自分たちで好きな具を巻いてみるのも楽しそうじゃない？「恵方巻みたいでおいしそうね。」

↓

テーマ：作った具材を自分で選んで巻く

・恵方巻

入居者さん同士、作業中にお互い助け合ったり、会話が盛り上がる様子がありました。

3色丼
カブとカニカマの
あんかけ
春のすまし汁

振り返りのアンケートから（結果：15人中13人が回答）

さ＝さくらユニット、し＝しらふじユニット　れ＝れんげユニット

○イベント前	1：できなかったと思う			2：少しできたと思う			3：おおよそできたと思う			4：大部分できたと思う			5：よくできたと思う		
	さ	し	れ	さ	し	れ	さ	し	れ	さ	し	れ	さ	し	れ
計画時、入居者の生活歴を意識できましたか？	0	0	0	2	3	0	2	0	4	1	1	0	1	0	0
３ユニット合計	0			5			6			2			1		
何を行うか入居者と話をした。	0	0	0	0	2	1	3	1	0	1	1	2	2	0	1
３ユニット合計	0			3			4			4			3		
イベント前の入居者との会話の中で、その方が昔食べたり関わったりしたことを知ることができた。	0	0	0	0	2	1	3	1	1	2	1	0	1	0	2
３ユニット合計	0			3			5			3			3		

振り返りのアンケートから

	1：できなかったと思う			2：少しできたと思う			3：おおよそできたと思う			4：大部分できたと思う			5：よくできたと思う		
○イベント中	さ	し	れ	さ	し	れ	さ	し	れ	さ	し	れ	さ	し	れ
入居者なりのやり方や味付け、見た目などを取り入れることができたか。	0	0	0	1	0	2	4	2	3	0	0	1	1	0	0
３ユニット合計			0			3			9			1			1
調理分担を考えて行うことができたか。	0	0	0	0	0	0	3	3	2	2	1	2	1	0	0
３ユニット合計			0			0			8			5			1
計画時または実施中に入居者に教えてもらったことに関して感謝を伝えたか。	0	0	0	0	0	1	2	4	0	0	0	2	4	0	1
３ユニット合計			0			1			6			2			5

○イベント後	さ	し	れ	さ	し	れ	さ	し	れ	さ	し	れ	さ	し	れ
生活歴に関連した新しい発見はあったか。	0	1	1	2	2	3	4	1	0	0	0	0	0	0	0
３ユニット合計			2			7			5			0			0

振り返りのアンケートから

〇イベント前段階

・計画時、生活歴を「少し」「おおよそ」意識できた。
入居者さんとユニット職員全員が話ができ、その方の生活、食について知ることができた。

〇イベント実施中

・作り方などその方なりのやり方を「おおよそ」取り入れることができた。

・調理分担について、ユニット職員全員が意識して行えた。

〇イベント終了後

・生活歴に関連した新しい発見が「できなかった」が2人、「少しできた」が7人、「おおよそできた」が5人だった。

振り返りのアンケートから（記述）

〇イベント時の入居者さんの様子から感じたこと

・イベント中の会話から入居者さんの以前の生活を知ることができた

・事前の準備の大切さ（ポスターなどの告知）

・見ている入居者さんへの配慮と実施時の手順などを事前に職員間で情報共有することの大切さ

・実施時の入居者さんの状態にあった役割分担

振り返りのアンケートから（記述）

〇生活の継続を意識したイベント計画～実施で疑問や気になったことはあったか。

・身体機能によって、入居者さんの作業に偏りがあること
・過去のことを知らない。今しか見れてない。
・計画の段階での生活歴の活かし方
・計画の段階で入居者さんとの話し方、話題の広げ方
・イベントと生活歴、その人らしさへのつながり

今後の課題

①計画時、入居者さんとどう会話を広げるか
　現在、話し合いながら模索中です。

②当日の役割分担、参加の仕方について
　入居者さんによって作業に偏りが出る。参加の仕方にも人それぞれあるという視点を持ちつつ、事前にユニット内で話し合い、共有しておく。

③「入居者主体」の食イベントにしていくこと
　入居者さんが決めて、入居者さんが行えるように職員はそれを引き出してサポートする。

今後も入居者さんと職員、お互いにとってより良い「食のイベント」を継続していきます。

ご清聴ありがとうございました。